

日本初

# ディスクロージャー 実務検定スタート

主要企業の三月決算発表が一巡したが、今年度も企業の決算訂正が相次ぐ状況となった。不正会計問題への投資家の懸念も根強く、上場企業の財務担当者の質向上が急務となっている。その様な状況下、株式上場の支援を行う東洋ビジネスコンサルティングの入江修二より、「新興企業を中心

## 実務担当者の育成へ

### 投資家の信頼回復の切り札か

社長が理事長となりのNPO法人（特定非営利活動法人）としてディスクロージャー実務検定協会が発足、情報開示（ディスクロージャー）の実務能力を問う日本初の民間検

定試験実現が具体化してきた。情報開示能力への不安が新興市場不振の一因となっているだけに今

る企業担当者から参加申し込みがあり、上場企業サイドも情報開示能力の早期向上を望んでいるのが実情だ。ディスクロージャー実務検定協会は今年四月に大阪府庁から認定を取得、既にディスクロージャーの八月開講が決定しているが、現在は大阪府庁を通じて内閣府へ商標登記を申請中で認可後には、全国規模でのディスクロージャー実務検定がスタートする。東証一部市場が堅調推移するなかでも新興市場では株価低迷を余儀なく企業が少なくない。今後、証券アナリストなどと同様に検

定資格が定着すれば、実務能力を育成と質の向上、そして新興市場企業の信頼回復につながるものとして注目したい。